

第533回遊佐町議会定例会一般質問通告書

令和元年12月定例会

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
1	7 番 菅原 和幸 (一問一答)	1. 公共施設の更新計画の現状について	<p>総額21億8千万円（広報ゆぎ5月号記載額）を要する役場庁舎建設工事が着手される。建設財源は地方債と平成25年度から積立の庁舎等建設基金である。金融機関から借入の地方債元利償還については、国から交付税措置される。発注後において、契約変更増等があった場合、柔軟な対応は可能か。</p> <p>「遊佐町公共施設等総合管理計画」では、各施設毎に更新期間が示されている。町民の生活には重要な公営企業施設（上・下水道）について、施設の現状と今後の更新計画について伺う。</p>
		2. 「仮称；文化の郷・すぐせ」構想の提案	<p>「大字直世」は、旧高瀬村と旧吹浦村の一帯の地域であり、乾田馬耕の記念碑があるように、新田開発がされた地でもある。一方、初代鉄道助の生誕の地や丸池様、小山崎遺跡発掘地など、文化的にも注目される。同地は観光面でのポテンシャルも高いが、ジオサイトへの道路インフラは、完全ではないと考える。特に丸池様周辺は「鳥海国定公園区域」内にあり、開発行為も制限されると想定される。地域振興、観光振興等を含めた「仮称；文化の郷・すぐせ」構想の策定について提案する。</p>
2	6 番 松永 裕美 (一問一答)	1. 「ひきこもり」現状と対応	<p>①デリケートな問題であるが「ひきこもり」の方々についての当町の現状</p> <p>②「ひきこもり」の方々への支援について</p> <p>③「ひきこもり」の方々の御家族へのサポートについて</p> <p>④「ひきこもり」の方々への対応について</p>
		2. 教育環境の向上について	<p>①知の拠点「町の図書館」を更に利用して頂けるよう町の小・中・高校生を対象に預金通帳型の「読書の記録」新システムの導入を提案する。</p> <p>②統合する小学校の5・6年生対象にしらい自然館でのALL English夏合宿プログラムを提案する。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
3	4 番 佐藤 光保 (一問一答)	1. 自衛隊による住民基本台帳の閲覧について	近年の実態はどうか。 個人情報保護についてどうか。 今後の取組みはどうか。
		2. 災害時の町民への情報伝達について	防災行政無線は機能しているのか。 防災ラジオが有用ではないか。
4	1 番 本間 知広 (一問一答)	1. 大規模化する風水害に対し想定の見直しはされているか	<p>台風19号に代表されるように、最近の風水害は大規模化してきている。町は「遊佐町地域防災計画」を策定しているが、その想定を超える想定をしなければならない時期に来ているように思える。今年の4月に県が新たな浸水洪水想定区域図を公表した。雨量想定最大規模のシミュレーションでは、月光川、高瀬川、日向川の各水系の浸水想定を重ねると町のほとんどが浸水する結果が出ている。</p> <p>それに伴い町でも新たなハザードマップを策定していると聞いているが、避難所が安全な所に設定しているかも含めて現在の状況を伺う。</p>
5	5 番 齋藤 武 (一問一答)	1. 相次ぐ自然災害から、町は何を学んだのか	<p>我が国では東日本大震災以降様々なタイプの自然災害が相次ぎ、今年になってからも庄内沖の地震や度重なる台風の襲来など、枚挙に暇がない。</p> <p>一方、直接間接の被災経験の蓄積によって、少しずつではあるが全国各地でより具体的な防災対策が進みつつある。</p> <p>では町はこれらの災害から、何を学んだのだろうか。自然災害が少ないと言われてきた遊佐町だが、これは偶然近年少ないだけの話であり、対岸の火事で済ませられることではない。改めて考え方を確認したい。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
6	3 番 佐藤 俊太郎 (一問一答)	1. 海洋プラスチックごみ問題について	○近年、海洋中のマイクロプラスチック(大きさが5mm以下の微細なプラスチックごみ)が生態系に及ぼす影響が懸念されている。今後の町の対策についてお伺い致します。
		2. 健康増進事業(健康・体力づくり事業)の推進について	○健康の保持増進のため様々な事業を実施中ですが、高齢者への訪問指導状況についてお伺い致します。 ○「いきいき百歳体操」の普及状況についてお伺い致します。
7	10 番 高橋 冠治 (一問一答)	1. 今後の町発注の公共事業のあり方は	平成2年から行われて来た公共事業の一つである下水道管渠布設工事が、今年度ですべて終了する。 長年の継続事業終了による関連する町内事業者への影響は大きいと思われる。 また急速に進む人口減少をも踏まえ、今後の町発注の公共事業のあり方は。
		2. 小山崎遺跡に係わる今後の計画は	小山崎遺跡がようやく国の史跡に指定される見込みとなった。 遺跡だけではなく、近隣にある牛渡川、丸池様、箕輪孵化場などの関連した整備計画が必要と思うが町の考えは。
8	8 番 赤塚 英一 (一問一答)	1. 森林整備と林業振興の今後の考え方は	鳥海山の麓に位置する遊佐町において、林業振興は豊かな自然を守り後世につなぐ大切な事業と思う。 しかし、その林業の担い手が育っていないのが現状ではないか。 今後の森林整備の現状と課題、林業振興の町の考えは。

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
9	2 番 那須 正幸 (一問一答)	1. 人生を楽しむための「いきいき100歳体操」	<p>3年後の自分が健康であると自信をもって言う事が出来るでしょうか。全国的に高齢者とは65歳以上の方を言うそうですが、我が町での人口比率を見ますと平成31年4月で人口の39.8%の5,512人の高齢者がおられます。その中の2割の方が要介護・認知症と統計がでております。8割の4,416人は推定元気高齢者、さらに令和10年を迎えると人口の50%近くが65歳以上となります。私たち自身が「こころとからだ」も元気に保ち、健康で生き生きと生活を送る為にどんな事を心がければよいのか、町で取り組み、地域の皆さんが自主的に行われている、「いきいき100歳体操」に視点を移し、どんな形で普及したのか、又サポートとその効果はどうなっているのか伺いたい。</p>
		2. 防災無線が聞こえない	<p>地域の皆さんから、防災無線が聞こえないとよく伺います。防音、気密性が良い今どきの住宅事情もありますが、災害は予告もなしにやってきます。防災無線の拡充には、かなりの予算もかかり設置まで、すぐには対処できないのが現実かと。現在、小学校などで利用している緊急配信メールを活用し高齢者の方でもワンタッチで確認ができる遊佐町独自のアプリなどをつくり早期配信する事は出来ないか伺いたい。</p>
		3. 小学校のバス通学の対応は	<p>遊佐中のスクールバスが12月から新たに1^区圏外運行が始まりました。路線の拡大や時間が長くなるが、通常の運行マニュアルに加え災害時のマニュアルはあるのか、また小学校統合に伴う直前の運行ではなく、安全面も考え、スクールバス運行のシミュレーションも兼ね、早期の小学校のバス通学も考える時期ではないか伺いたい。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
10	9 番 阿部 満吉 (一問一答)	1. 町の空き家対策は	人口減少と共に、世代間の別居も進む中で、持ち主が住まない空き家が増えている。築年数の若い家屋であれば「空き家バンク」に登録し、新たな住人も期待できるが、危険家屋に相当する家屋は手付かずだ。限界集落になりかねない状況を町はどう捉えているのか。危険家屋の調査から見えてきたこと、今後の施策を聞きたい。
		2. 町の広報は、町民の情報ツールではないのか	町民と議会の懇談会の中で、町主催ではないため、広報への掲載を断られたそう。聞けば営業目的ではないが、とても観客が集まるイベントだそう。広報への掲載基準はどう整理しているのか。
11	11 番 斎藤 弥志夫 (一問一答)	1. 減債基金	減債基金とは公債、社債などの長期の借入金を償還するために積み立てられる基金、また積み立てた資金のことである。現状の減債基金は総額いくらありますか。それぞれの返済の項目と金額、金利はいくらかで返済期日はいつか。減債基金の適正な額はどのように管理されているのか伺う。
		2. 西通川のマコモ(ガツギ)対策	西通川の草刈りで西遊佐分については、西遊佐の農家の皆さんが浜集落の農家の皆さんも来て年に2回刈っている。川の中のマコモ(ガツギ)を刈るのに、かなりの人数と労力を費やしている。草刈りの労力軽減と時間短縮、何よりも西通川の環境美化を実現するために、マコモの処理対策と重機を使った土砂上げを実行してもらいたいものだ。
		3. 結婚祝金の増額	遊佐町では平成22年度より若者の定住促進と未婚者の婚姻を祝うために結婚祝金を交付している。ゆざっ子誕生祝金は第1子と第2子が5万円、第3子以降10万円である。現在3万円の結婚祝金を第1子誕生祝金の5万円ほどに増額できないか。